

山形県の人口と世帯数（推計）

（平成23年9月1日現在）

8月の概況

平成23年9月1日現在の本県の人口は、1,161,350人で、前月に比べ7人減少した。内訳では、自然動態で352人（出生823人・死亡1,175人）減少、社会動態で345人（県外転入1,550人・県外転出1,205人）増加した。

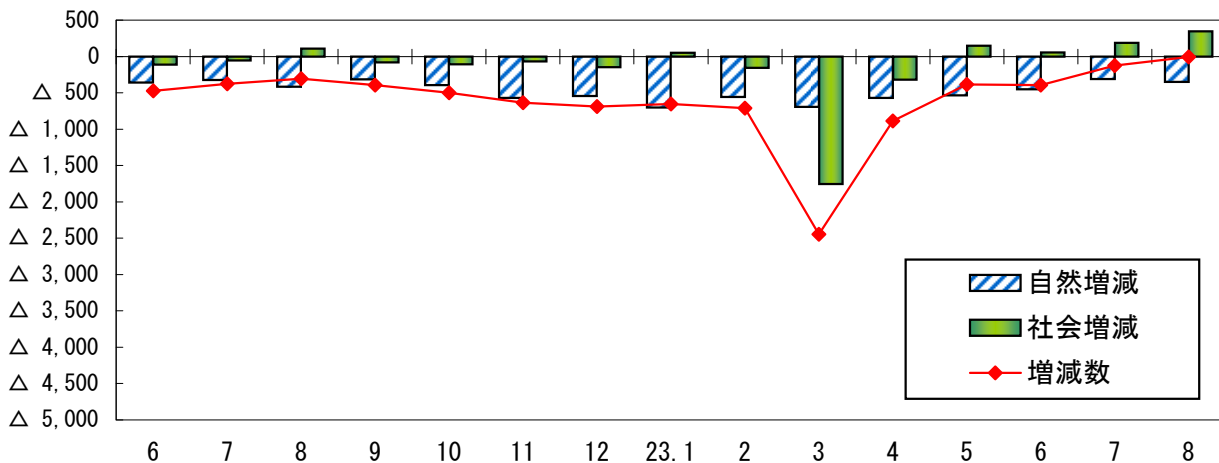
市町村別で見ると、増加したのは11市町村、減少したのは24市町村であった。

世帯数は、390,843世帯で、前月に比べ203世帯増加した。

表1 平成23年8月中の人口動態

		総数	
8月1日現在人口		1,161,357	
自然動態	出生	823	
	死亡	1,175	
	自然動態増減	△ 352	
社会動態	転入	県内	993
		県外	1,550
	転出	県内	993
		県外	1,205
	社会動態増減	345	
実増減		△ 7	
9月1日現在人口		1,161,350	

〈移動人口の月別推移〉



平成23年9月27日

山形県企画振興部統計企画課

表2 県人口と世帯数の推移

	総数	男	女	対前月 増減数	世帯数
* H 2. 10. 1	1,258,390	607,041	651,349	—	341,638
* H 7. 10. 1	1,256,958	607,316	649,642	—	360,178
* H12. 10. 1	1,244,147	601,372	642,775	—	377,049
* H17. 10. 1	1,216,181	585,023	631,158	—	386,728
H18. 10. 1	1,207,059	—	—	—	387,735
H19. 10. 1	1,197,802	—	—	—	388,413
H20. 10. 1	1,187,790	—	—	—	388,418
H21. 10. 1	1,178,148	—	—	—	388,350
※H22. 10. 1	1,168,789	—	—	—	388,670
11. 1	1,168,291	—	—	△ 498	388,785
12. 1	1,167,653	—	—	△ 638	388,831
H23. 1. 1	1,166,963	—	—	△ 690	388,830
2. 1	1,166,309	—	—	△ 654	388,829
3. 1	1,165,596	—	—	△ 713	388,703
4. 1	1,163,148	—	—	△ 2,448	388,176
5. 1	1,162,262	—	—	△ 886	389,787
6. 1	1,161,876	—	—	△ 386	390,206
7. 1	1,161,481	—	—	△ 395	390,400
8. 1	1,161,357	—	—	△ 124	390,640
9. 1	1,161,350	—	—	△ 7	390,843

注1 「*」は国勢調査確定値です。「※」は国勢調査速報値です。

注2 平成18年～平成21年の数値は、平成22年国勢調査速報値に基づき補間補正しています。補間補正とは、国勢調査の人口・世帯数と、同年10月1日の推計人口・世帯数との間に調査方法の違いから生じる差を解消するため、前回国勢調査～当該国勢調査間の各年の移動数を遡及して修正することです。

注3 平成22年国勢調査速報値では男女別人口が集計対象となっていないため、平成18年10月1日現在以降の男女別人口は、補間補正した分も含めて、平成23年10月(予定)に総務省統計局から国勢調査確定数(男女別人口あり)が公表された後に掲載します。

[利用上の注意]

- この月報は、平成22年国勢調査人口及び世帯数(速報値)を基礎として、これに市町村から報告される住民基本台帳及び外国人登録法に基づく「増減数」(出生、死亡及び転入、転出者)を加減して推計したものです。
 - 世帯数については、国勢調査と住民基本台帳の世帯のとらえ方に相違がありますので、利用に当たってはご注意ください。
- ◆ 各月報を取りまとめ、毎年10月1日現在で「山形県の人口と世帯数 ～山形県社会的移動人口調査結果報告書～」を刊行しておりますのでご利用ください。また、平成22年の年報を山形県ホームページに掲載しております。
(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kikakushinko/020052/>)

山形県の人口と世帯数についての照会は、下記にお願いします。

山形市松波二丁目8-1
山形県企画振興部統計企画課 生活統計班
TEL 023-630-2186
FAX 023-630-2185

表3 市町村別人口と世帯数

平成23年9月1日現在

	総数	自然動態			社会動態			総増減	世帯数	世帯数増減
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減			
総数	1,161,350	823	1,175	△ 352	2,543 (1,550)	2,198 (1,205)	345 (345)	△ 7	390,843	203
市部計	919,546	672	906	△ 234	2,162	1,787	375	141	320,499	206
郡部計	241,804	151	269	△ 118	381	411	△ 30	△ 148	70,344	△ 3
村山地域	561,450	430	499	△ 69	1,490	1,198	292	223	192,561	144
最上地域	83,129	62	82	△ 20	131	154	△ 23	△ 43	25,500	△ 12
置賜地域	225,193	143	254	△ 111	456	411	45	△ 66	74,724	36
庄内地域	291,578	188	340	△ 152	466	435	31	△ 121	98,058	35
山形市	254,272	212	188	24	727	518	209	233	97,644	93
米沢市	88,957	65	84	△ 19	240	184	56	37	33,094	29
鶴岡市	135,416	96	172	△ 76	187	185	2	△ 74	45,708	15
酒田市	110,292	64	114	△ 50	210	173	37	△ 13	38,980	16
新庄市	38,474	28	33	△ 5	72	95	△ 23	△ 28	12,982	△ 3
寒河江市	42,059	34	42	△ 8	97	93	4	△ 4	12,842	12
上山市	33,433	23	41	△ 18	70	71	△ 1	△ 19	10,742	△ 9
村山市	26,431	10	44	△ 34	32	32	0	△ 34	7,926	3
長井市	29,317	14	36	△ 22	41	52	△ 11	△ 33	9,343	△ 4
天童市	62,116	51	49	2	185	120	65	67	20,578	36
東根市	46,821	47	38	9	210	177	33	42	14,711	7
尾花沢市	18,558	9	29	△ 20	28	30	△ 2	△ 22	5,348	△ 1
南陽市	33,400	19	36	△ 17	63	57	6	△ 11	10,601	12
山辺町	15,104	9	13	△ 4	39	26	13	9	4,489	0
中山町	11,897	8	7	1	24	34	△ 10	△ 9	3,439	0
河北町	19,756	13	16	△ 3	45	40	5	2	5,761	1
西川町	6,124	1	7	△ 6	5	18	△ 13	△ 19	1,883	4
朝日町	7,738	8	6	2	5	10	△ 5	△ 3	2,295	△ 2
大江町	9,102	1	11	△ 10	15	21	△ 6	△ 16	2,687	△ 1
大石田町	8,039	4	8	△ 4	8	8	0	△ 4	2,216	1
金山町	6,265	3	3	0	5	11	△ 6	△ 6	1,697	△ 3
最上町	9,693	10	13	△ 3	8	10	△ 2	△ 5	2,775	1
舟形町	6,030	3	8	△ 5	4	8	△ 4	△ 9	1,657	△ 5
真室川町	9,005	9	11	△ 2	10	7	3	1	2,609	1
大蔵村	3,709	6	3	3	17	8	9	12	1,044	1
鮭川村	4,772	3	6	△ 3	12	8	4	1	1,301	0
戸沢村	5,181	0	5	△ 5	3	7	△ 4	△ 9	1,435	△ 4
高畠町	24,811	16	27	△ 11	33	45	△ 12	△ 23	7,238	1
川西町	17,077	13	25	△ 12	25	30	△ 5	△ 17	4,721	△ 6
小国町	8,695	4	8	△ 4	13	6	7	3	3,023	2
白鷹町	15,129	7	25	△ 18	21	20	1	△ 17	4,482	0
飯豊町	7,807	5	13	△ 8	20	17	3	△ 5	2,222	2
三川町	7,723	8	9	△ 1	21	15	6	5	2,171	3
庄内町	22,930	15	22	△ 7	39	44	△ 5	△ 12	6,610	3
遊佐町	15,217	5	23	△ 18	9	18	△ 9	△ 27	4,589	△ 2

【社会動態について】

社会動態の数値は、県内転出入と県外転出入の合計
ただし、()内は県外転出入のみの数値

お知らせ

調査へのご回答をお願いします。



平成23年9月

平成23年

社会生活基本調査

日本の未来の羅針盤



▼本年10月20日現在で社会生活基本調査を行います。

社会生活基本調査は、私たちが日々どのくらいの時間を仕事や学業、家事に費やしているのかや、過去1年間の自由時間にどのような活動を行ったのかについて調査し、その結果は、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の推進や少子高齢化対策などの基礎資料として活用されます。

▼調査名を初めて知ったという方もいるかと思えます。

社会生活基本調査は、昭和51年から始まった調査で、数ある統計調査の中で比較的新しい調査です。

昭和51年当時は、第一次オイルショックを経て日本経済が高度成長期から安定成長期へと移行を始め、国民の意識も金銭的・物質的な面ばかりでなく、生活の質的向上や精神的充実へと向けられるようになった時期です。

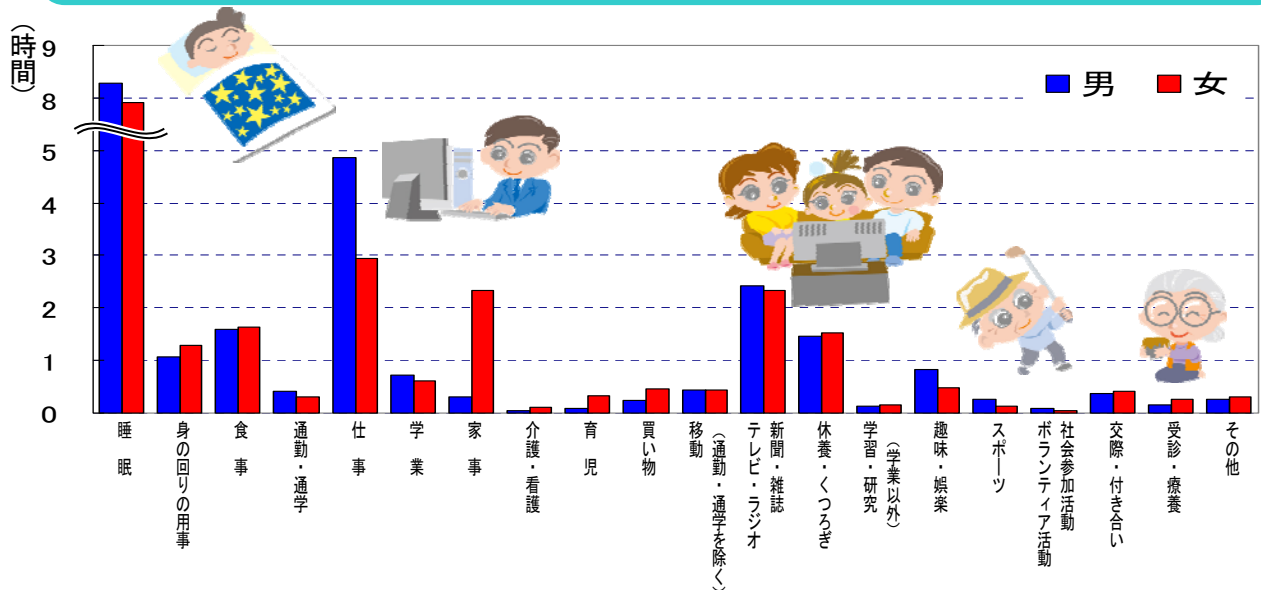
社会生活基本調査は、このような状況の中で、生産・所得・雇用などの分野に比較して統計が十分でなかった国民生活の質的側面の充実を明らかにすることを目的として始められました。

▼調査は、総務省統計局が無作為抽出した県内124地域を対象として、その中からさらに無作為抽出で調査世帯が選ばれ（約1,500世帯）、山形県知事が任命した統計調査員が調査票を配布し回収する方法で行われます。

調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご回答、よろしくお願いいたします。

～平成18年社会生活基本調査の結果からわかること～

行動の種類別生活時間(15歳以上)一週全体、山形県



◆ 詳しくは、統計企画課生活統計班までお問い合わせいただくか、ホームページをごらんください。

☎ 023-630-2177・2178 / <http://www.pref.yamagata.jp/ou/kikakushinko/020052/>

☒ 平成22年国勢調査 よくあるお問い合わせ～人口等基本集計公表日について

これまで、岩手県、宮城県、福島県について公表されており、全国と残り都道府県については10月中の予定ですが、現在、結果の審査中であり、日にちについては公表のめどがつかしだい下記URLに掲載されますのでご覧ください。

総務省統計局 公表予定掲載場所 http://www.stat.go.jp/data/kouhyou/e-stat_kokusei2010.xml